

会計検査院安中研修所における人材育成

会計検査院 技術参事官 みつはし 三橋 かつひこ 勝彦

1. はじめに

会計検査院は、明治13年（1880年）に創設され、以来130年以上にわたり一貫して我が国の会計検査を担ってきた長い歴史と伝統を持つ国家機関です。会計検査院の職員は、歴史と伝統を継承しつつも、一方で、社会経済情勢の変化、時代の要請に的確に対応しながら、常にチャレンジを怠らず、国民、納税者の目線に立った会計検査を展開していくことが求められています。そのため、会計検査院でも検査に当たる職員の資質の一層の向上を図ることが求められ、人材育成のために様々な教育訓練が行われています。特に、その中心的な役割を担っているのが、今回紹介する群馬県安中市にある会計検査院安中研修所です（写真－1）。



写真－1 安中研修所全景

2. 会計検査院の職員に対する研修

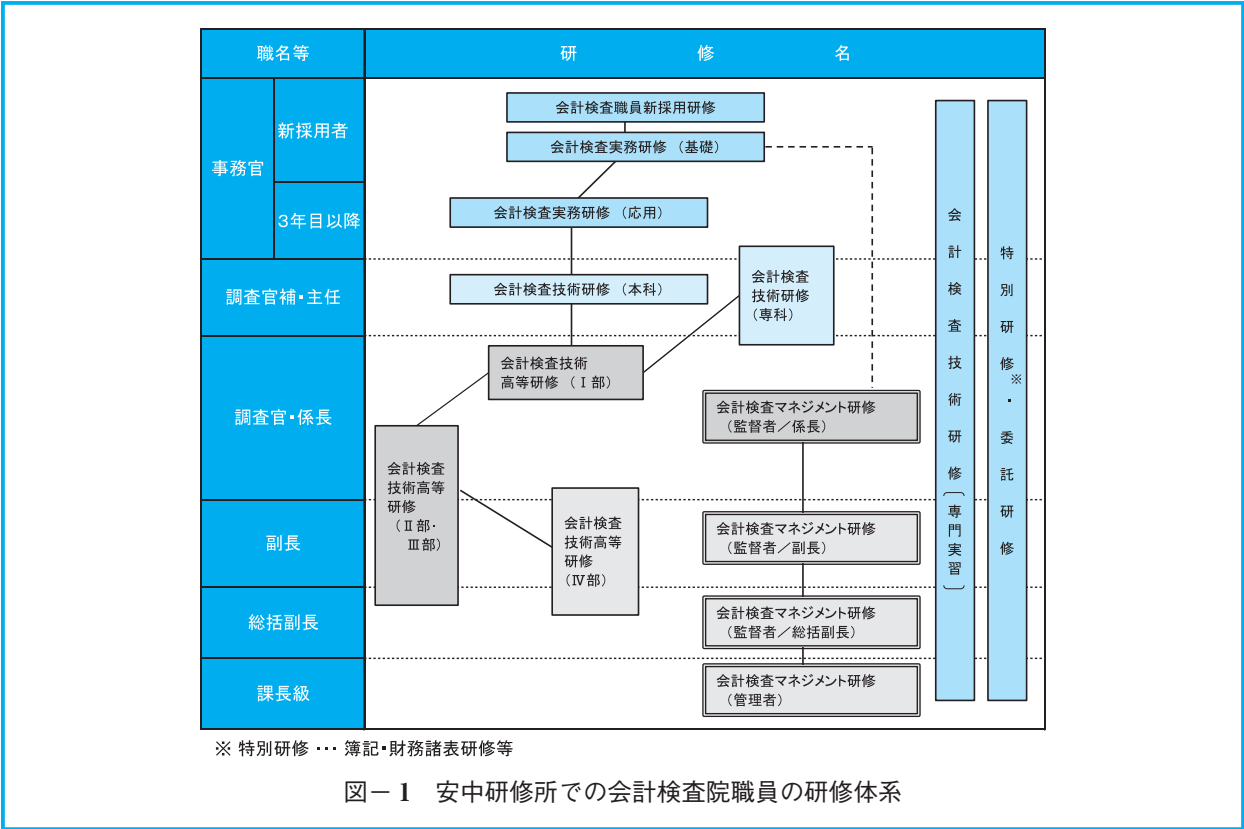
会計検査院の職員に対する主な研修としては、次のようなものがあります。

- (1) 経験の浅い一般職員を対象に、検査業務に必要な財政会計制度、基本的な検査技法などの基礎的知識を習得させる研修

- (2) 調査官補を対象に、検査報告の掲記事項を中心に事例研究を行い、実践的な検査技法を習得させ、検査能力の向上を図る研修
- (3) 調査官を対象に、工事や企業会計、情報通信など各分野の高度で専門的な知識を育成し、検査技術の充実を図る研修
- (4) 外部の教育研修機関（大学院、税務大学校など）に派遣し、専門的知識、技能を習得させる研修

(1)～(3)の研修は、主に合宿研修施設（安中研修所）において行われ、会計検査院職員に、職務の遂行に必要な知識及び技能を習得させ、またその能力や資質を向上させることを目的としています。研修は主として階層別実施され、その体系は図－1のとおりです。

安中研修所は、平成4年10月に職員等の合宿研修施設として開所されました。その後、平成



11年3月までに、他の研修施設にはない工事検査実習施設として、実物大構造モデル及び工事検査実習棟が完成し、研修に役立っています。

3. 検査を受ける各府省庁や団体等の職員を対象とした講習会

会計検査院では、検査を受ける各府省庁や団体

等の職員の会計や監査に関する能力向上に寄与するため、各府省庁や政府関係機関、独立行政法人及び都道府県等地方自治体の会計事務職員、内部監査職員を対象にして、会計関係の法令実務や監査技法などの講習会を安中研修所で開催しています。表-1に示すように複数のコースがあり、所要日数はどのコースも5日間です。

表-1 検査対象機関の職員への講習会		
講習会名	目的	対象者
各省庁内部監査業務講習会	会計監査の基本理念、知識と技法を習得させることにより、各省庁における内部監査の充実強化に資する。	原則として公務員の経験が5年以上で年齢が25歳以上の内部監査業務従事者
政府出資法人等内部監査業務講習会	会計監査の基本理念、知識と技法を習得させることにより、各法人等における内部監査の充実強化に資する。	原則として採用後の職務経験が5年以上で年齢が25歳以上の内部監査業務従事者
全都道府県会計職員事務講習会	会計に係る知識と技法を習得させることにより、各都道府県における会計事務の遂行に資する。	原則として公務員の経験が5年以上で年齢が25歳以上の国費会計事務従事者
地方自治体監査職員事務講習会	会計監査の基本理念、知識と技法を習得させることにより、各都道府県等における内部監査の充実強化に資する。	原則として公務員の経験が5年以上で年齢が25歳以上の監査業務従事者
全都道府県内部監査業務講習会（工事コース）	国庫補助事業の経理に係る知識と技法を習得させることにより、内部監査の充実強化を図り、各都道府県における補助事業の適正化に資する。	原則として公務員の経験が5年以上で年齢が25歳以上の国庫補助事業の工事部門担当部局の監査または審査業務従事者
全都道府県内部監査業務講習会（一般コース）	国庫補助事業の経理に係る知識と技法を習得させることにより、内部監査の充実強化を図り、各都道府県における補助事業の適正化に資する。	原則として公務員の経験が5年以上で年齢が25歳以上の国庫補助事業の工事部門以外の担当部局の監査または審査業務従事者

4. 外国の会計検査院の職員を対象とした研修

会計検査院は、日本の途上国に対する技術協力の一環として、毎年、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する研修に協力しています。JICA 課題別研修「公共工事政府会計検査」は、この枠組みの中で行われ、世界の途上国の会計検査院の職員がこれに参加して、検査技法等の多くのことを修得し、自国で活躍しています。なお、この研修でも安中研修所が活用されています（写真－2）。



写真－2 平成 28 年度 JICA 課題別研修「公共工事政府会計検査」（会計検査院 HP より）

5. 研修の概要

(1) 研修のポイント

会計検査院では、毎年度、国会に報告する決算

検査報告の中で、公共工事に関する多数の設計ミス、積算過大、施工不良等の不適切な事態を指摘しています。その内容は舗装や擁壁、カルバート、水路などの多岐にわたるほか、近年は橋梁の安全性に関する指摘が多数を占めています。

公共工事の検査では、現場に行き、構造物を直接見て、触って、時には奥に隠れた現象なども調べる必要があることから、検査を担当する職員には経験と知識に基づく一定以上の検査水準が求められています。

そこで、会計検査院では、土木や建築を専門に学んできた職員も、学んでこなかった職員も、公共工事の検査能力を高めるために各種の構造物教材に直接触れ、その特徴や誤りやすいポイントなどを学ぶとともに、ベテラン調査官の経験やこれまで蓄積された過去の指摘事例を集中的に習得することなどのできる、検査のエキスパート養成を目的とした研修を安中研修所において実施しています。

また、最近はこれらのノウハウを各府省庁や団体、地方自治体や諸外国の検査担当職員にもお伝えして、検査技術の向上などを目的とした研修にも力を注いでいます。表－2 に、地方自治体の職員を対象に行っている「全都道府県内部監査業務講習会（工事コース）」の例を示します。

表－2 全都道府県内部監査業務講習会（工事コース）

	(午前)			(午後)	
1 日目	(移動)			オリエンテーション 開講式	会計検査制度
2 日目	課題討議 「公共工事の監査実務の 現状と課題」 基調講義	課題討議 「公共工事の監査実務の 現状と課題」 班別討議	昼 休 み	課題討議 「公共工事の監査実務の現状と課題」 班別討議・発表・まとめ	
3 日目	課題討議 「公共工事の監査実務の現状と課題」 班別討議・発表・まとめ			同左	補助金制度
4 日目	監査技法と実例 工事の計画・設計 (工事検査実習施設を含む。)			同左	入札談合の 防止に向けて
5 日目	監査技法と実例 工事の積算・施工等	閉講式			

(2) 工事検査実習施設

前頁の「全都道府県内部監査業務講習会（工事コース）」のカリキュラムの1つ、「監査技法と実例、工事の計画・設計」では、より実践的な研修を可能にするために整備された施設である、工事検査実習施設が活用されています。

同施設は、安中研修所の西側に位置し、面積約10,000平方メートルの敷地内に築造されたもので、工事検査実習棟及び構造物モデルなどから構成されています。

このうち、工事検査実習棟は、延べ床面積約786平方メートルの鉄筋コンクリート造平屋建てで、実習棟内は約500平方メートルの実習室、ミーティングルームなどが備えられています。また、展示施設が設けられ、コンクリートの材料となる砂や碎石、異形鉄筋、コンクリートの強度を試験するテストピースや圧縮試験機、多数の模型などに直接触れることができます。

また、屋外に設置された構造物モデルは、安中研修所にある施設の中でも特に目を引くもので、①舗装モデル、②擁壁モデル、③河川護岸モデル、④法面モデル、⑤ボックスカルバートモデル、⑥上下水道モデル、⑦建築モデル、⑧水路モデル、⑨海岸護岸モデル、⑩橋梁モデルがあります。このように多数の実物大構造物モデルが1箇所に集中して設置されることはめずらしく、研修員はそれぞれに構造物に直接触れたり、構造の違いを間近で比較することができます。

このうち、特に、舗装、擁壁工、河川護岸工、法面工、ボックスカルバートの5種類については、「基礎工」から「仕上工」までの施工手順が分かるように、順を追って展示されています。これにより、完成後の姿をただだけでは分からない、途中段階の姿や構造物の中身について理解することができます。

また、構造物モデルのいくつかでは、あえて設計段階や施工段階で起こしやすいミスを再現することにより、よい例と悪い例を対比できるように展示に工夫をしています。

鉄筋探査機やシュミットハンマー等の各種検査

器具の使用方法も、構造物モデルを使って習得することができます。

① 舗装モデル（写真－3）

舗装モデルは、コンクリート舗装及びアスファルト舗装について展示され、施工の各段階を示したモデルとなっています。このうち、アスファルト舗装は施工不良の例として、

○アスファルト量の不足

○温度管理の不良

を挙げ、それと正しい施工例を比較できるようになっています。

② 擁壁モデル（写真－4）

擁壁モデルは、もたれ式擁壁、ブロック積擁壁、重力式擁壁、逆T型擁壁について展示され、L型擁壁は施工の各段階を示したモデルとなっています。不適切な設計に基づく施工例として、縦壁及び底版について、

○主鉄筋の表裏の誤り

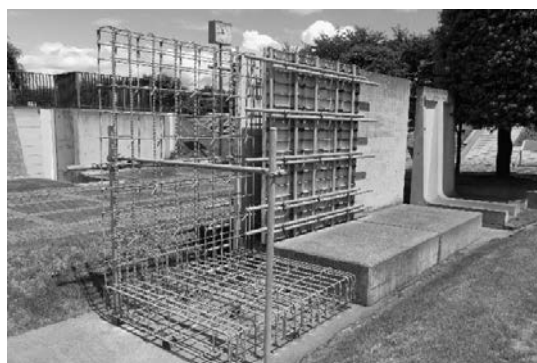
○主鉄筋径の誤り

○主鉄筋間隔の誤り

を挙げ、それと正しい設計に基づく施工例を比較



写真－3 舗装モデル



写真－4 擁壁モデル

できるようになっています。また、コンクリートの施工不良例として、

○コンクリートの強度不足

○コンクリートの打設方法不良

を挙げ、それと正しい施工例を比較できるようになっています。

③ 河川護岸モデル（写真－５）

河川護岸モデルは、連節コンクリートブロック工、かごマット工、張りブロック工、緑化ブロック工について展示され、施工の各段階を示したモデルとなっています。

④ 法面モデル（写真－６）

法面モデルは、現場打ちコンクリート法枠工、プレキャスト法枠工、コンクリート吹付工について展示され、施工の各段階を示したモデルとなっています。

⑤ ボックスカルバートモデル（写真－７）

ボックスカルバートモデルは、施工の各段階を示したモデルとなっています。不適切な設計に基づく施工例として、

○頂版の主鉄筋間隔の誤り

○底版の主鉄筋間隔の誤り

を挙げ、それと正しい設計に基づく施工例を比較できるようになっています。また、施工不良例として、

○コンクリートの強度不足

○コンクリートの打設方法不良

○鉄筋のかぶり厚さの不足等

を挙げ、それと正しい施工例を比較できるようになっています。

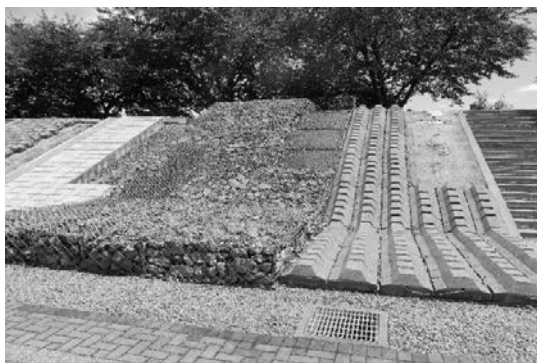
⑥ 上下水道モデル（写真－８）

下水道モデルは、砂基礎、砂利基礎、コンクリート基礎（90度巻き、360度巻き）で布設した遠心力鉄筋コンクリート管及びマンホールのモデルとなっています。

上水道モデルは、ダクタイル鋳鉄管、鋼管、硬質塩化ビニル管のモデルとなっています。

⑦ 建築モデル（写真－９）

建築モデルは、鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造については6階建てを、鉄骨造



写真－５ 河川護岸モデル



写真－７ ボックスカルバートモデル



写真－６ 法面モデル



写真－８ 上下水道モデル

については3階建てを、それぞれ想定したモデルとなっています。

⑧ 水路モデル (写真－10)

水路モデルでは、水路の不適切な設計に基づく施工例として、側壁及び底版について、

○主鉄筋径の誤り

○主鉄筋間隔の誤り

を挙げ、それと正しい設計に基づく施工例を比較できるようになっています。また、コンクリートの施工不良例として、

○コンクリートの強度不足

○コンクリートの打設方法不良

を挙げ、それと正しい施工例を比較できるようになっています。

⑨ 海岸護岸モデル (写真－11)

海岸護岸モデルは、自立式鋼矢板護岸工、タイロッド式鋼矢板護岸工及び張りコンクリート式護岸工について展示され、施工の各段階を示したモデルとなっています。



写真－9 建築モデル

⑩ 橋梁モデル (写真－12)

橋梁モデルの下部工については、橋台1基、橋脚3基が展示され、そのうち橋脚1基は施工の各段階を示しています。また、上部工は、コンクリート橋1連、鋼橋1連について展示され、施工の各段階を示したモデルとなっています。

6. おわりに

安中研修所は会計検査院の職員のために設置された研修所ですが、本院の職員を対象に研修が行われているだけでなく、検査対象機関の職員のための講習会や会計検査を行う途上国職員に対する研修にも利用されていること、また、構造物モデル等のユニークな設備が活用されていることについても紹介させていただきました。安中研修所は、今後も引き続き、広範な人材育成に貢献していくことが期待されます。



写真－11 海岸護岸モデル



写真－10 水路モデル



写真－12 橋梁モデル